



鹿児島 丸山委員

鹿児島からは交渉の取り組み、嘱託社員の問題について報告し発言としたい。

鹿児島乗務センターは要員過の状態であり、新幹線の巡回業務をさせ乗務させている。再近、また増えて3行路の実施となつている。コロナ禍であるので、感染対策や異常時対策・訓練教育の問題で交渉を行った。交渉する事で会社に何でもできるという事に対し、歯止めをかけていると考える。

嘱託社員が65才になり、短日数勤務を選んだ場合、管理者から、転勤があるという話が出ている。会社が決めた制度である以上、会社の責任でやるべきではないか。また鹿児島では、高齢者行路も実施されていない。最近、労働組合軽視の動きがあるので九州本部も対応すべきだ。要求が前進すれば若い人達も国労加入・拡大の動きに繋がって行くと思うので、その立場で九州本部も交渉などで頑張ってほしい。

書記長集約



九州本部 西山書記長

コロナ禍で感染拡大が終息に向わない中で本委員会を成功裏に終わったことに対し感謝を申し上げたい。何点かについて集約としたい。

①22春闘について JR九州は、これまで3回に渡りボーナスを減額してきた。株主配当は据え置けるなど社員だけ負担を押し付けるやり方に将来に不安しかない。結婚できない」と不満の声が出ている。今春闘で六千円のペアと全社員に生活支援金10万円を獲得するため奮闘していきたい。また労働条件改善についても2月までの取り組みについて協力をお願いしたい。また、3月5日には九州本部主催で春闘決起集会を開催するので参加をお願いしたい。

②組織拡大について

12月15日に組織拡大対策会議を開催し意思統一し、まずは各エリアで1名の拡大を目指すことを確認してきた。コロナ禍で行動することが制限されるが各地区本部では創意工夫して取り組みを強化して欲しい。

職場では、若手から手当の削減などで不満は渦巻いている。追い込まれて退職する社員も多い。工夫して相談に乗りながら拡大運動に一歩踏み出して欲しい。

③安全安定輸送について 効率化提案について交渉を行ってきた。268名の効率化に対して社員から不安の声が出ている。BPRと言えどもいいと安全より収益を重んじる風潮になり、サービスを社風と言いながら無人駅と営業時間の変更と現場社員に負担を負わせるものばかりである。

安全や制度等について問題があれば、今後も会社に申し入れをしていきたい。その為には、職場の実態を把握し各地区での交渉を強化していく事が大事である。普段から意識して問題を考え何かあれば組織として把握することが重

要であり、各機関と情報共有することが求められている。まだコロナの収束は見えていない中での春闘となるが、賃金は労働力の再生費であるという一との前提で学習会の開催や職場からの運動の再度要請したい。22春闘勝利・組織の強化拡大・職場からの運動強化に向け共に頑張ろう。

※当面する行動について

- ①春闘中央決起集会 2月25日
- ②青年婦人家族中央行動 2月26日
- ③3月5日 九州本部春闘決起集会
場所 リファレンス博多

がん治療を幅広く まとめて保障するがん保険



No.1 がん保険
医療保険
保有契約件数
令和元年版 インシユアランス生命保険統計
約4世帯に1世帯がアフラックの保険に加入
(詳細はホームページをご確認ください)

「生きるためのがん保険Days1 ALL-in」は、がんに関する治療費に加え、治療関連費も幅広くまとめて保障する保険です(所定の支払事由に該当する必要があります)。

■募集代理店(アフラックは代理店制度を採用しております)

アベニール株式会社

〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3階
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

(引受保険会社)

「生きる」を創る。

Aflac

アフラック
東京第二法人営業部
東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル19F
TEL.03-3344-1429 FAX.03-3344-2658
P19437 AFソール2020-0059-200729 2月3日